

土地家屋調査士



👑 合格者 村岡 健一さん

👑 合格者 徳山 こよみさん

👑 合格者 高橋 彰真さん

実績が、あなたを後押しする



教育訓練給付金
対象講座



一般社団法人
全国産業人能力開発団体連合会

～安定した高い合格実績～

昭和、平成、そして令和も…ゆる

あなたの頑張りを後押しする、あなたを着実に合格へ導く――

時代を超えてもなお、ゆるぎない実績が私たちの誇りです。



日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。



日建学院

- 2002年 Webオンライン学習システム「ニッケンWebスクール」開設
- 1995年 (社)全国建設業協会と提携し、(株)建設産業振興センター設立に参加
- 1990年 インテリア雑誌「コンフォルト」創刊
- 1989年 日建学院100校目開校
- 1983年 シリーズ書籍「建築設計資料」創刊
- 1982年 学校法人 実務学園 設立(東京日建工科専門学校)開校
- 1980年 「日建学院」60校目開校
- 1979年 「日建新聞」創刊
- 1978年 「土地家屋調査士講座」開講「宅地建物取引主任者(現取引士)」開講
- 1977年 基本建築基準法関係「法令集」(オレンジ本)創刊
本社内に映像講義 制作専用スタジオ・編集室設置
- 1976年 「日本建設実務学院(現 日建学院)」創設(東京校(1校目・池袋)開校
「1級/2級建築士学科・設計製図講座」開講(対面授業でスタート)
建築雑誌「住宅建築」創刊
カセットテープによる「建築士養成講座」制作・発売
コンピュータによる「建築構造計算システム」開発
- 1972年 「出版事業開始」庭園雑誌「庭」創刊
- 1970年 「積算ポケット手帳」創刊
- 1969年 「住宅関係原図資料集」制作・発売
株式会社建築資料研究社設立

ぎない合格への道「日建学院」

1級建築士から
転職!!

村岡 健一さん



実務経験なしでも
初受験で合格!!

徳山 こよみさん

～日建学院で合格!!～

体験談は8～11ページで!!

の歴史



《生講師から映像学習へ》

- 2024年 創立55周年
- 2024年 日建学院建築士講座が日本マーケティングリサーチ機構の調査により10部門でNO.1を獲得
- 2020年 日建学院が日本マーケティングリサーチ機構の調査により3部門でNO.1を獲得
- 2019年 創立50周年
- 2017年 厚生労働省委託事業 高齢者スキルアップ・就職促進事業に参画
- 2015年 日建学院開校40周年
- 2012年 スマートフォン・タブレットでも講義視聴が可能となる配信システムを構築
- 2011年 個別講座を扱う「日建学院・公認スクール」全国に展開
「求職者支援訓練」「都道府県委託訓練」全国で開始
- 2010年 厚生労働省雇用対策 緊急人材育成支援事業による「基金訓練 建築・不動産・パソコン・簿記養成講座」開始
- 2009年 (社)全国土木施工管理技士会連合会の「継続学習制度(CPDS)認定講習」開始
- 2008年 建築士や土木講座を扱う「日建学院・認定校」を展開
日建学院教室内「個別ブース」学習スタイルスタート
- 2006年 国土交通大臣の登録を受けた(株)日建学院主催の「1級/2級建築士定期講習」開始
- 2005年 1級/2級建築士、宅建、「個別指導システム」スタート
- 2004年 国土交通大臣の登録を受けた(株)日建学院主催の「宅建実務講習」開始
- 2004年 国土交通大臣の登録を受けた(株)日建学院主催の「宅建登録講習」開始
- (社)全国建設業協会施設を活用した通信衛星による「監理技術者講習」全国300カ所を開始

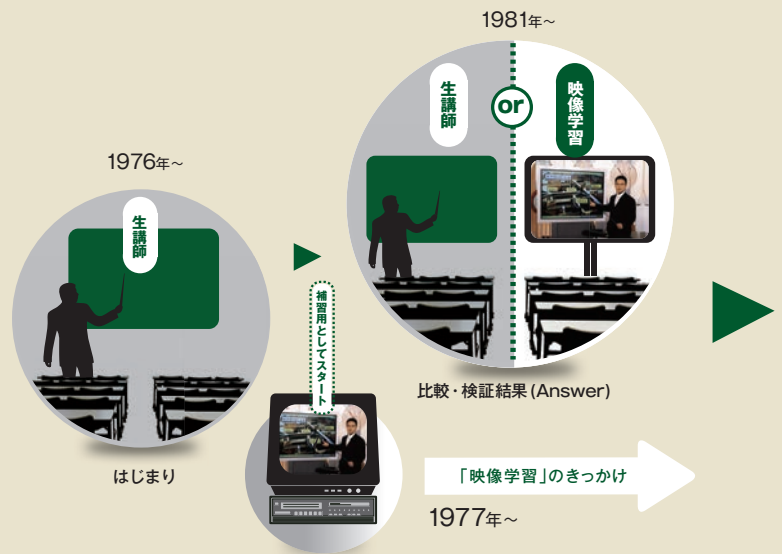
なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

生講師による講義からスタートした日建学院。より高い成果、効率的な学習方法を求めて試行錯誤するなかで、「映像学習」の講義スタイルという選択肢が現れました。試験的導入の結果、合格率の高い「映像学習」を選択。歴然の差の前に、「映像学習」の効果を突きつけられたこと。映像一筋で比類ない実績を出し続ける日建学院の原点です。

ここが違う!!

よそ 他の映像とは違う! 日建学院の映像

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したものです。日建学院の高合格率を支える最高品質を追求する映像は、最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナル撮影・編集。講義時間の数倍の時間をかけ、CGやアニメーション等も盛り込んだ頭と心に残る映像だから違いが出ます。



全員合格を目指すなか、
「欠席者も含め、全員合格して欲しい」
という思いから補講 VTR を制作。

その後、全国展開するなかで、各校の講師のレベル差が合格率の差となって表れました。そこで、講師のレベル較差をなくし安定した高い合格率を求め「映像学習」の講義スタイルにする教室が増えていきます。

STEP.1 会議



合格に直結する映像をめざし クオリティをとことん追求

最新の試験情報、業界動向を徹底的にチェック&精査し、試験に必要な知識をいかにわかりやすく、覚えやすく盛り込むかを相談します。講師だけでなく教材制作者や試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、内容を細部まで緻密に丁寧に決めていきます。

STEP.2 撮影



各分野のカリスマ講師が 全受講生に最高の講義を提供

それぞれの分野を、一番得意とする講師が担当。内容はもちろん映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影します。映像講義で想像しがちな、どこかで行われた講義を撮影しておいて、他の場所でも流すというものではありません!

Answer 生講師の教室と「映像学習」の教室の受講生を比較すると、

合格率が平均的に 10%高い実績！

合格にこだわるため、受講生の声と合格実績から「映像学習」を選択。
全国一律の圧倒的な講義力で今に至ります。

1989年～



合格にこだわる選択「映像学習」の講義スタイルへ

1998年～



クオリティを追求し続ける

「つまずきやすい」が「わかる」に変わる。

文章ではイメージしにくい内容などは、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、理解するために最適な表現方法で映像化。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は「よりわかりやすい」映像表現を求めて、毎年、進化を続けています。「つまずきやすい」を「わかる」に変えるまで工夫を重ねた映像講義だから「よくわかる」「疑問が残らない」と好評です。

映像の学習効果は脳科学でも立証。

人間の脳には日々、膨大な情報が入ってきます。これを脳の海馬という器官が取捨選択し、海馬が選んだ情報だけが脳に送られ、記憶として保管されるのです。脳科学の世界では、文字や聴覚だけの情報に比べ、映像情報のほうが海馬の記憶に残りやすいと言われています。試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」。毎年、多くの受講生から聞く声です。

STEP 3
編集



CGやアニメ等も盛り込みながら 頭と心に残る映像への仕上げ

講師が解説するだけでなく、現場の映像、イラストやCG、アニメーションなどを多用。一番わかりやすい手法を採り入れながら編集します。最新機器を完備した自社のスタジオ&編集室での一貫制作だからこだわり放題。最新情報の追加なども自由自在です。

STEP 4
完成



さらに!!

アドバイザー講師が いるから安心!!



映像講義後に、その場で 質問に答える講師がいます

映像講義への不安といえば「ただ映像が流れるだけ」「わからないことがあっても質問できず、そのまま」…。もちろん、そんなことはありません。講義の際に常駐する講師が疑問をその場で解決して前に進めます。



講師

さい き こう いち
齊木 公一

日建学院土地家屋調査士講座総合プロデューサー。
自らの実務経験を活かした講義を行っている。

講師

土地家屋調査士業界歴約20年以上にわたる実務経験を活かした教材制作・講義・講座プロデュースを行っている。
従来土地家屋調査士受験界に存在していなかった中級カテゴリを作り出すなど、新規講座の監修多数。

「自分は学者を目指しているのではなく、一日も早く土地家屋調査士試験に合格して、実務家として活躍するのだ。」という目標を持って取り組むこと!

講座リニューアルについて、 どの様にリニューアルされたのですか?

ここでは、大枠のみ申し上げます。テーマの1つは、「難しいことをやさしく」です。

ご存知のとおり、土地家屋調査士試験は法務省の実施する難関試験です。「難しいことを難しく」指導していたのでは、到底短期合格など望めません。

だれにでも、どのようなレベルの方でも理解できるよう、視覚と聴覚に訴えるビジュアルの強化で、さらに「やさしい」講義へとリニューアルしました。

そして、2つ目のテーマは、「実務の視点から」です。

土地家屋調査士試験で主に試されることとなる不動産登記法は、国家試験のために存在するものではなく、登記制度を適正に維持するために存在するものといえます。

さらに書式問題に至っては、まさに土地家屋調査士が実務の現場で作成する申請情報と添付図面の作成を求めているものとなっています。

ここから、登記行政の背景の理解なしに、法理論や書式スキルの定着はあり得ないと言っても過言ではないでしょう。常に実務の視点を持ちつつ、法理論の理解、書式スキルの定着を図れるように意識したリニューアルを行いました。

この2つのテーマは、土地家屋調査士の実務及び受験指導に

あたっていた20年間に渡り、私があたためてきたものであり、今ここで、日建学院の映像講義により結実したものといえます。

その他にも、「N-Method」として、独自の試験攻略ノウハウを随所で紹介するなど、より効率良く学習していただけるよう、様々な工夫を凝らしてありますので、まずは一度、実際の講義を体験していただきたいと思います。

齊木講師から受験生へメッセージをお願いします。

難関と呼ばれる資格試験を一度志すと、長くて暗いトンネルの中に足を踏み入れてしまったような感覚に襲われることがあります。恐れることは何もありません。

当学院の講座をご受講いただければ、私をはじめとする講師・スタッフが皆さんの足元を強烈な光で照らし、合格という名の出口へと最短でご案内します。

もちろん、合格という名の出口以外からも、そのトンネルから脱出することは可能です。

しかし、私は、合格という名の出口以外から脱出した空は曇っているようにしか思えないのです。

私は皆さんに曇った空を、絶対に、見せたくありません。

私と一緒に、資格試験という名のトンネルを最短で駆け抜け、雲一つない空を手に入れましょう!



体験講義のご案内

日建学院土地家屋調査士のホームページでは、映像講義体験版を配信しています。

「眺めているだけで理解できた」、「試験中に講義で見た映像が浮かんできた」、「とにかく記憶に残った」と受講された方からの評価も高い映像講義。ぜひ一度に日建学院の映像講義をご体験ください。



映像講義体験版は、
コチラから!

試験概要

❖受験資格

- ・年齢、性別、学歴などに関係なく誰でも受験することができます。
 - ※ただし、以下にあてはまる方はその申請により午前の部の試験が免除されます。
 - ①測量士、測量士補、一級建築士もしくは二級建築士となる資格を有する方
 - ②午前の部の試験について筆記試験に合格した者と同等以上の知識及び技能を有する者として法務大臣が認定した方（筆記試験に合格した方を除く）
- ★日建学院の講座は、「午前の部」試験免除者のみを対象としていますのでご注意ください。

❖試験形式

- ・午前の部、午後の部、口述試験の3段階で実施され、午前の部、午後の部ともに試験は多肢択一式と記述式。(午前の部、午後の部とも、多肢択一式問題又は記述式問題の各成績のいずれかがそれぞれ一定の基準に達しない場合には、それだけで不合格となります。)

❖試験内容

- ・不動産の表示に関する登記につき必要と認められる事項であって次に掲げるもの
 - ①民法に関する知識
 - ②登記の申請手続及び審査請求の手続に関する知識
 - ③土地及び家屋の調査及び測量に関する知識及び技能であって次に掲げる事項
ア. 平面測量 イ. 作図
 - ④その他土地家屋調査士法第3条第1項第1号から第6号までに規定する業務を行うのに必要な知識及び能力

【筆記試験】… 午前の部：③、 午後の部：①②④

【口述試験】… ②④

❖試験時間

- 【筆記試験】… 午前の部：09時30分～11時30分
- 【筆記試験】… 午後の部：13時00分～15時30分
- 【口述試験】… 口述試験受験票に記載されます。

❖試験スケジュール（予定）

- ・受験申請書請求：7月上旬～
- ・受験申請書提出：7月下旬～8月上旬
- ・筆記試験日：10月第3日曜日
- ・多肢択一式問題の正解・基準点発表：11月下旬
- ・筆記試験合格発表：1月上旬
- ・口述試験日：1月下旬
- ・最終合格発表：2月中旬
- ・最終合格者の官報への公告：3月上旬

❖受験地

- 【筆記試験】… 法務局または地方法務局が指定した場所
- 【口述試験】… 管区法務局ごとにそれぞれが指定した場所

❖受験手数料（予定）

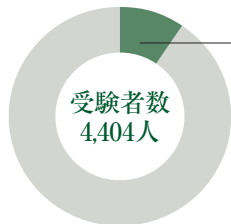
- ・8,300円

❖試験実施機関

- ・法務局及び地方法務局
- ・https://www.moj.go.jp/shikaku_saiyo_index5.html

試験データ

■ 2022年度 土地家屋調査士試験 合格率



合格者数：424人 合格率：9.62%

- ・平均年齢：39.41歳
- ・最低年齢：20歳（1人）
- ・最高年齢：67歳（1人）
- ・男性：389人（91.7%）
- ・女性：35人（8.3%）

午前の部 総合得点100点満点中68.0点以上、多肢択一式問題60点満点中30.0点以上、記述式問題40点満点中32.0点以上

午後の部 総合得点100点満点中79.5点以上、多肢択一式問題50点満点中37.5点以上、記述式問題50点満点中34.0点以上

※以上のすべての条件を満たした方が合格となります。

資格のメリット

土地家屋調査士の仕事は、不動産に関わるさまざまな仕事と深いつながりがあります。そのため、他の資格試験と学習内容が重なります。さらに、建築士、測量士（補）の有資格者は、試験の一部が免除される優遇措置も！ひとりで複数の業務が行えれば、仕事の幅、収入面でも、有利になります！

■ 1級建築士、2級建築士の方は

試験ではココが有利

午前の部の試験が免除されます！

業務ではココが有利

設計・監理に加えて、測量・登記まで請け負えることで、当然収入も上がります。登記は施主にとって建物が自分のものであることを証明するための大切な手続き。測量・プランニングから登記まで、トータルなサービスで施主へ安心を与えられる建築士に！

■ 測量士、測量士補の方は

試験ではココが有利

午前の部の試験が免除されます！

業務ではココが有利

土地家屋調査士の資格を取得すれば、公共測量だけでなく民間の不動産登記に関わる一筆地測量まで行うことができるようになります。

さらに、不動産登記についての法律的な専門家として、近年頻発している境界紛争に関する業務についても業務を広げることができます。

土地家屋調査士資格をプラスして土地境界のプロフェッショナルに！

測量士補は土地家屋調査士の前に取っておきたい資格です！

測量士補には受験資格がなく、誰でも受験することができます。そして土地家屋調査士の「午前の部」の試験が免除される資格のうち、比較的合格しやすい資格といえます。現在免除資格のない方は、事前に測量士補の資格を取得するのが一般的です。



Successful Candidate

合格者の声

01

5 回目での合格です。10年程前に他社通信教育で2年勉強し受験。平成29年に勉強を再開して3回連続受験したものの合格できず、日建学院での受講を決めました。仕事のある平日は3～4時間、土曜は他の用事をこなしながら1～2時間、日曜は6～7時間と、年にすると1300時間は勉強したかもしれませんが。もともとは高卒で勉強嫌いでしたから成績は悪い方でしたが、王貞治氏が現役時代に言った「努力は結果が出なければ努力ではないのでは」という厳しい教訓を思い出し、今度こそ悔やまないようにと自分を信じて学習に取り組みました。また、妻や子供たちの協力も大きな糧になったと思います。今から考えると通信教育の学習では、どの位のスピードで解答を進めていけばいいか、また法改正など、実践内容が不足し過ぎていました。その点日建学院は、パンフレットやカリキュラムに記載されている通りに勉強すれば合格も夢ではないと感じましたし、実際受講内容は非常に優れていました。齊木先生のお言葉通りやれば、資格は取れます！



**4回受験の後
日建学院を受講して合格**





理解することに力を注ぐ
それが合格への近道

1級建築士から転職

土地家屋調査士 合格
村岡 健一さん

Successful Candidate

合格者の声 02

1 級建築士として仕事をする傍ら、土地家屋調査士を目指しました。表記に関する登記は調査士でなければできないことに魅力を感じ、定年に関係なく長く働いていけると思ったからです。ただ、目指したときは40歳を超えていたので最短合格を目指して、1級建築士取得でもお世話になった日建学院へ相談に行きました。

本気度の違いもありますが、初年度は暗記に頼った学習だったことやハプニングがあり不合格。2年目はわずか2点足りず…結果、合格するのに3年を要しました。

初年度の失敗を踏まえた上で勉強に本腰を入れてからは、とにかく理解度を深めることに力を入れました。齊木先生が言われたノルマを確実にこなし、一択・書式問わず暗記ではなく理解すること。理解するために、ぼんやりしたところは一度戻って学習する。遠回りに聞こえるかもしれませんが、これが合格への一番の近道だったと思います。

現在は調査士事務所では働いていますが、齊木先生の言葉は、実務を通して実感できるものとなっています。



「初受験で実務もない私が、
日建学院に通って
1回で合格できました。」

私の合格勉強法を紹介します。

徳山 こよみさん

① 「スケジュールに沿って実施した学習」

本試験年1月～2月：書式編（記述問題）に集中

書式編の講義を受け、その日のうちにやり直しをしてノートにまとめる。翌日もう1度解き、宿題をする。宿題も間違ったところはどこかノートに書いていく。1週間後にもう1度同じ問題を解き、できているか確認。毎日することがあるようにスケジュールを組みました。

3月～4月：択一＋書式編の過去問を実施

書式講義を受講⇒復習⇒宿題に加え、過去問を始めました。毎日、土地1問建物1問・択一を20問ずつ繰り返しました。

5月～7月：択一＋書式編3周目

書式講義⇒復習⇒宿題＋それまで行ったすべての書式問題の3周目を実施しました。3周目で忘れていたところ、何度やっても間違えるところにチェックを入れています。択一問題も毎日20問行い、書式問題は2年分やっていたので1日3～7時間勉強していました。

8月：総復習

それまで、まとめていたノートを参考に択一問題の苦手なところを何度も書いて覚えていきました。書式問題は、3周目に実施した時の出来の悪い問題をもう1度実施。書式の覚えづらいところもノートにまとめました。試験直前はそのノートを見返すだけにしました。



2 「実施した学習の進め方」

択一問題に関しても書式問題に関してもとにかく書いて覚えました。

択一問題は1章ごとの重要箇所をまとめたノートを2周分。問題を解いてあやふやなところ・間違えたところのやり直しノートが3周分。

書式問題は間違えた申請書を再現してまとめたもの・計算方法・添付書類等のポイントをまとめ、これも3周分あります。私は、書かないと覚えられないタイプなので、この方法で勉強しました。

最初こそ大変ですが、慣れてくると書くことも減り、自分の知識の不確かなところだけがかかるので、2周目以降から勉強が楽になったと思います。

3 「学習スケジュールの組み方」

基本的には毎日することがあるよう、また、本番に問題を3周させるのに間に合うよう、最初に計画を立てました。根を詰めすぎても嫌になりそうなので、1週間に1日だけ何もしなくても大丈夫のように計画しました。

特に書式問題は全部の問題を書き出し、1回目・2回目・3回目と日付をつけた紙を作り、実施したところをマーカーでつぶしていきました。

(下記の例のような感じです)

この表によって日々の達成感と、さぼった時の危機感がすごかったです。1週間ごとにその週の課題は手帳にも転記していました。

●書式(例)

過去問	1回目	2回目	3回目
平成9年	3/5	3/27	7/2
平成10年	3/6	4/1	7/3

4 「講座について」

私は、実務経験がなく、今回が初受験でしたのでとても不安な中、講義を受講し始めました。ですが、齊木先生の講義は画像も豊富でさらに詳しく解説もあって、とてもわかりやすかったです。単調でなく、メリハリもあったので最後まで集中して聞くことができました。一度だけ、他受験予備校の模試を受験した際、解説DVDの内容がとても単調で開始10分で心が折れたので、私には齊木先生の講義がとてもぴったりだと改めて感じました。講義が進むにつれ、だらけそうになった時、ちょうどいいタイミングでやる気を出させるような一言があったことにもとても感動しました。

なかでも、「受かるまでが試験」という言葉はすごく励みになりました。日建学院を選んで本当によかったと感じています。

5 「筆記試験当日の感想」

試験当日は、人の多さと実務をなさっているんだろうなという感じの方の多さに、はじめは圧倒されてしまいましたが、すぐにこの教室の中で私が一番勉強した!と思い直して取り組むことができました。

各階平面図の2・3階を間違えましたが、落ち着いて訂正することができ、試験終了15分前に見直しまで終わりました。

記述問題(一問一答のような問題)には自信がなかったのですが、これ以上できることは何もないというところまで答案を作成することができたと思います。

6 「筆記試験結果について」

試験結果は択一40点・土地20点・建物22点の計82点でした。

合格点をわりと上回っていた安心感とともに、これだけ勉強してこの点数か・・・という思いもありました。

おそらく問題を解くのを2周目でやめていたり、ノートを作らなかつたり、途中で嫌になっていたら落ちていたんだろうなと思います。

絶対に1年で受かる!と決めて勉強に取り組んでよかったです。

7 「口述試験対策について」

日建学院のバーチャル口述試験対策講義で、まずは何も見ずに質問に対しての自分の答えを書いていきました。

その後、添削して正しい答えを覚えなおし法律用語が多く覚えにくい答えは自分なりに答えを作って覚えました。

よく出てくるのに覚えられないものはノートにまとめ、いろいろな場所で眺めていました。本番まで時間がなかったですが、当日聞かれたことは、対策講義の内容とほぼ同じだったので全ての質問に答えることができました。

8 「全体としての感想」

書式編の講義も口述対策の講義もとてもわかりやすく、わかりづらいと感じることはありませんでした。

講義でやった内容と同じような内容の問題が宿題になっていたのも、自分が本当に講義を理解できているのか、理解したうえで正しく答案を作ることができるのかどうかを確認することができ、とてもよかったです。

その後に過去問をすることによって、見たことあるパターンだ!と思い、過去問への抵抗感がなくなっていたのも初心者の私にとってはとても助かりました。

本当に勉強も大変でしたし、難しい試験でしたが、齊木先生の言葉通りに毎日コツコツ頑張ってよかったと思います。1年で合格させていただいたことに、とても感謝しています。本当にありがとうございました。

合格へ届く！日建学院の革新的講義

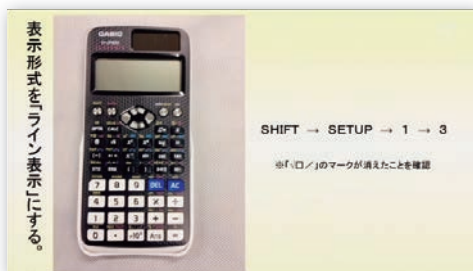
日建学院の映像講義には、精鋭講師によるポイントを押さえた解説はもちろん、CGやアニメーション・実写映像などが効果的に盛り込まれています。最新の映像技術を駆使し、複雑で難易度の高い内容が理解しやすいようにさまざまな工夫が凝らされており、その学習効果は、科学的にも実証されています。もちろん土地家屋調査士の学習においても、映像講義は効果的です。

土地家屋調査士受験用の講義に、日建学院の映像講義が適している ④つの理由！

理由その ①

調査士試験には、 定規・電卓の操作説明が必要だから！

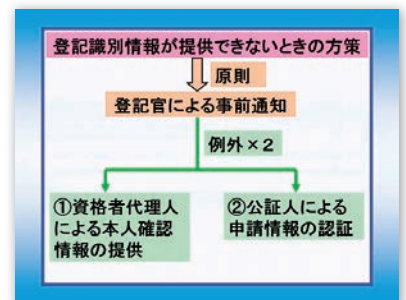
初学者が不安を覚える定規・電卓の操作。テキストや言葉だけでは説明しきれないニュアンスもCGで一発理解！



理由その ②

法律の学習は、原則・例外・趣旨の 整理が必要だから！

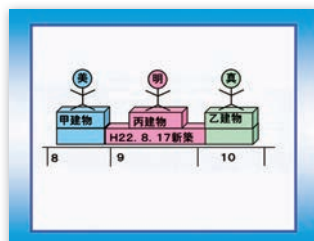
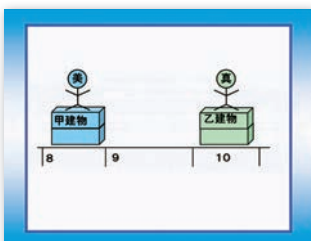
法律の学習についてまわる原則・例外・趣旨の無限ループ。重要論点になればなるほど、明確な整理が必要です。これらを色分けして表現することにより、明解な整理が可能となります。



理由その ③

書式の学習は「事件の概要」の 把握が必要だから！

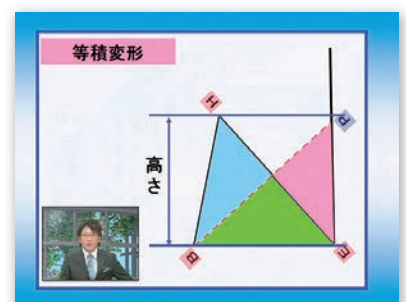
書式の解答は、問題に設定されている事件の概要を瞬時かつ正確に把握することからはじまります。したがって、事件の概要を時系列に整理できるようになっていなければなりません。テキストのようにはじめから「結果」の全てが表示された状態での説明では、時系列的整理をしていくための能力が養われません。その点、CGを利用している映像講義では、時系列に建物が建築されたり、移動したり、滅失されたりするので、時系列整理能力の養成が可能となっているのです。



理由その ④

「座標計算」のための ビジュアル理解が必要だから！

大半の受験生が苦手とする「座標計算」。克服するには、コツがあるのです。座標計算のためには、狭い範囲の中に存在する複数の図形を明確にしたり、補助線を引いたりする必要があります。これらを言葉で説明していくことは容易なことではありません。しかし、CGを用いることで、脳に直撃する講義が可能となりました。

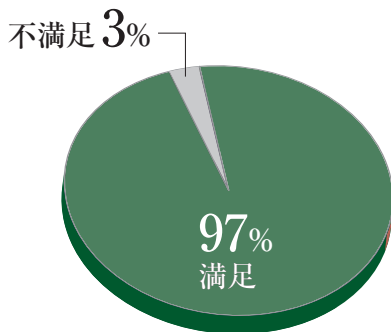


顧客満足度 97%!!

土地家屋調査士講座受講生アンケート結果

当学院の土地家屋調査士講座（本科コース、答練コース）を受講された受講生の修了アンケートです。

全体を通じての満足度はいかがでしたか？



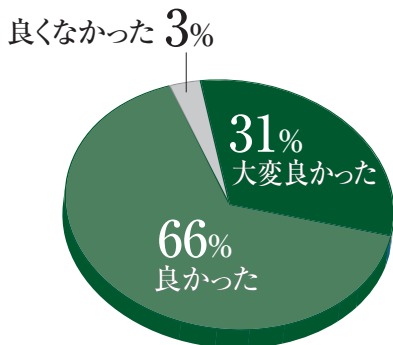
試験に合格する為に
必要な勉強量が本がありました。

学習時期にたいしての宿題
が出たので、とても良かったです。

本木先生が本当に良かったです。

- ・合格するための学習である。
- ・調査士実務家としての思考の
研究にもなる。

映像での講義は いかがでしたか？



方向角への考え方が良くわから
ずから下成。映像により理解
が深まった。

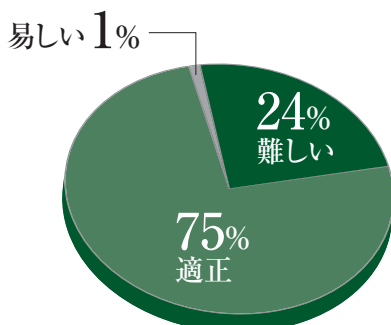
Nノリで記憶に残りました！

実際の実務の流れでの例えは
非常に良かった。解法のやりまじり◎

角算言説が目的がわかりやすい。
(講師が大変良いと思う)

- 良かった方がどこが良かったですか。(複数回答可)
- 👑 1位 図解を用いた説明で記憶に残った 44名
 - 👑 2位 自分で問題を解く際にもイメージが立てやすかった... 37名
 - 👑 3位 座標算出の手順や考え方が良く理解できた..... 22名

答案練習問題(答練講義)の 難易度はいかがでしたか？



あるパターンでの解法を忘れた頃に
ほぼよく散らして問題にされていた
ので、気づきが多かった。良いと思います

奇をてらったマニアックな問題で
なく、論点を押えた内容で良い。

他の資格学校の答練講義環境作
が、日建さんが一番本試験内容を
踏まえていて(用紙の色、解答枠の
大きさ、論点も)いいと思います。

第1~6回は過去問、
第7~12回は予想論点未出題の
計算ツールと段階を踏まえた
良問だったので、大変良かったです。

合格へ届く！日建学院の革新的教材

出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」 試験を熟知した講義重要項目をわかり

基礎力養成テキスト

基礎力養成テキスト

Q&A形式で進行

基礎力養成テキスト

基礎力養成テキスト

基礎力養成テキスト

基礎力養成テキスト

基礎力養成テキスト 書式編

調査士試験合格に必須となる基礎的事項を、図解を交えて簡潔にまとめています。講義同様にQ&A形式で進行するのでわかりやすく、電卓や定規の操作に関する疑問も素早く解消します。

MEMO

難解な不動産登記法関係法令を体系的にまとめた受験生必携の書。本講義理論編で使用しますので、予習・確認等に活用してください。

複雑な手続も図解の多用でスッキリ!



本講義サポート 理論編

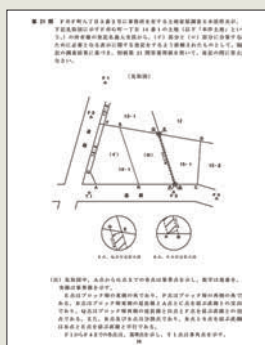
難解な不動産登記法関係法令を体系的にまとめた受験生必携の書。本講義理論編で使用しますので、予習・確認等に活用してください。

答案練習講義用テキスト

模擬試験問題・解答解説

答案講義

本試験を忠実に再現した本格派問題冊子。重厚な解説冊子も付属し、上級者の方も納得の本試験シミュレートが行えます。※全土地書式問題にツールボックスが挿入されています。



作成した図面の正誤を瞬時に判断できる、模擬試験等の書式問題の図面をチェックするためのシート。自分の実力を素早く正確に判断でき、弱点の把握に役立ちます。↓

自己解答図面

チェックシート

重ねてチェック!

透明シートを自己解答を重ねることで、正しく解答できていない部分が一目わかります。

本講義サポート

書式基礎力完成編

書式攻略に欠かすことのできないマーカーテクニックが自然と身につくよう問題文に工夫をしています。マーカーテクニックは前半講義で身につけます。

異なる線種のアンダーラインでマーカーテクニックを伝授



【第11問】

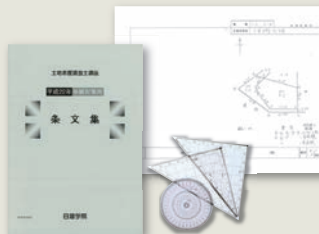
A市B町三丁目2番1号に事務所を有する土地家屋調査士西田一郎が、下記図面に示すJ市C町五丁目番地の土地（以下「本件土地」という。）につき、自市C町四丁目番地号に住所を有する北野太郎から、物理的現状及び現状の権利関係を登記に正しく反映させるために必要となる表示に関する登記の申請を依頼されたものとして、後記の調査結果に基づき、別紙答案用紙を用いて、後記の問に答えなさい。

見取図
所在 J市C町五丁目

図面には、A点からB点までの各点は、境界点を示し、数字は地積を、実線は境界線を示す。B点からC点までの境界線とD点からE点までの境界線の両方が、Q点からA点とB点とを結ぶ直線にある。

注：(イ)から(ウ)の数字は、多角点を示す。図中のすべての土地はJ市C町五丁目に属する。点A、Bについては、余裕地が埋設されており、他の境界点にはコンクリート杭が埋設されている。

その他





教材はどのコースも共通で配布

師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。やすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

本講義用テキスト



本試験択一別問題集

過去本試験問題を項目ごとにまとめた自宅学習用教材。詳しい解説付です。

書式編サブノート

解答用紙

ツールボックスを用いた体系的整理で、苦手な座標計算も克服!



本講義サブノート

書式実践編

各土地問題ごとに座標算出のツールボックスを挿入。これまで困難とされていた「閃き力」の養成も、ツールボックスの利用により可能なものとなりました。ツールボックスの使い方を覚えれば、土地書式問題に対する苦手意識が必ずなくなります。

参考資料：【本講義のツールボックス】(平成20年度)

座標と方向角	座標
I トライアングル計算 (距離と方向角)	✓
II 測と測図の計算	✓
III 二角法 (二角問題、二角問題)	✓
IV ビタゴラスの定理 (直角三角形)	✓
V 正弦定理	✓
VI 余弦定理	✓
VII 三角形の面積計算	✓
VIII 隣接測量問題の計算	✓
IX その他座標	✓
I 座標の読み	✓
II 交点計算	✓
① 4点が指定された座標	✓
② 傾きが指定された座標	✓
③ 固定する座標 (傾きの傾 - 1)	✓
III 内外分計算	✓
① 内外分計算	✓
② 内外分計算	✓
IV 距離実数	✓
V 距離実数計算	✓
VI 各点の座標	✓
VII 距離実数	✓
① 陸上トラス	✓
② 陸上トラス	✓
イ 均等法	✓
ロ コンパス法	✓
VIII 座標実数	✓

※ 本資料は、学習の便宜上提供しているものであり、あくまで参考資料として活用してください。座標実数にあたっては、傾きが取崩れするものもあり、また、座標に分解できないものもあります。したがって、本資料を参考にし、自分なりのツールボックスを作成することを推奨いたします。

調査士のための民法・調査士法

土地家屋調査士のための民法・調査士法、製図用三角定規、分度器、各種宿題、解答解説集、練習用紙など。使いやすさ、理解しやすさを追求した、さまざまな教材が揃っています。



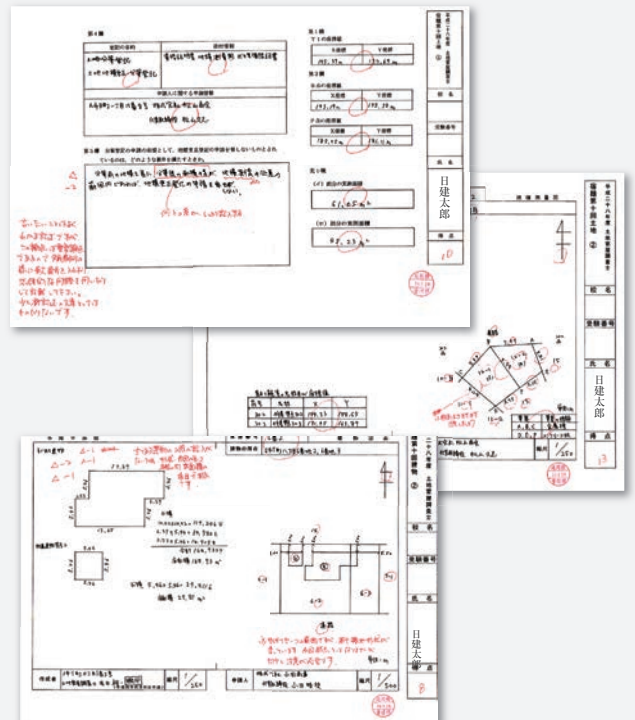
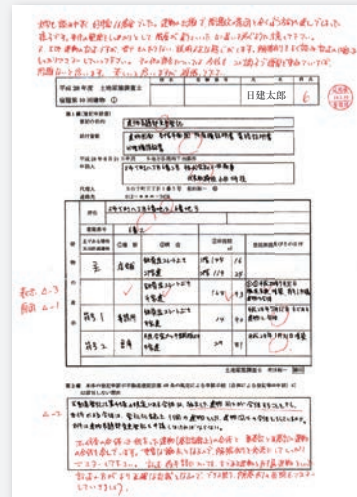
民法▶効率的に学習を進めるため、土地家屋調査士の業務上必要と思われる事項に絞って掲載。
調査士法▶出題頻度の高い項目の解説と条文集を掲載。

理解しやすい添削指導



以下の宿題・模擬試験の「書式」は添削を行います。

- 本講義:宿題「書式」第1・6・9・13回
※指定日以降に提出された宿題は、添削できない場合があります。
- 統一模擬試験の「書式」
- 答練講義:特訓答練模擬「書式」第2・4・6回
直前模擬「書式」第2・4・6回



土地家屋調査士講座一覧

	受験年度						
	11月～	1月	2月	3月	4月	5月	6月
<p>本科コース [全86回] 通 ★口述対策付</p> <p>調査士試験におけるすべての基礎から学べる安心・充実のプレミアムコース。</p> <p>電卓や定規の使い方から、理論・書式の基礎及び日建学院オリジナルメソッドを無理なく合理的に修得し、確実に合格を目指すカリキュラムです。初学者の方はもちろん、日建学院オリジナルメソッドを習得したい経験者の方や、知識を再整理して合格を確実なものにしたい経験者の方にもオススメのコースです。</p>				オリエンテーション[1回] 3月上旬	入門講義 [全6回] Web	基礎力養成講義 [全12回]	本講義 (理論編・書式編) [全31回] [全15回]
<p>本科Webコース [全86回] W ★口述対策付</p> <p>本科コースをWebで受講!いつでも、どこでも、何度でも。</p> <p>日建学院のプレミアムコース「本科コース」と同じカリキュラムをWebで受講いただけるコースです。学校に通うことが難しい方や、ご自宅などで毎日講義をくり返し受講したい方、ご自分で学習スケジュールの管理ができる方に最適なコースです。</p>				オリエンテーション[1回] 3月上旬	入門講義 [全6回] Web	基礎力養成講義 [全12回] Web	本講義 (理論編・書式編) [全31回] [全15回] Web
<p>答練コース [全22回] 通 W ★本科コース配布教材一式付 ★口述対策付</p> <p>直前に迫る本試験に向けて、知識・解答スキルの総仕上げを行いたい経験者向けマストバイコース。</p> <p>実戦を通して、知識・技術・時間配分・精神力の確認及び向上を目指す答練コース。日建学院の精緻な過去問研究の成果による高品質な本試験シミュレーションを、模擬試験を含めた全22回で学ぶ全受験生必須のコースです。もちろん、実戦を通じて日建学院オリジナルメソッドを習得することもできます。</p> <p>▶学習形態: 通 通学 W Web</p>							オリエンテーション[1回]

最短合格パック

測量士補+土地家屋調査士 合計学費440,000円 (税込484,000円)

学費内訳: 2024年度測量士補コース 30,000円(税込33,000円) ※通常80,000円(税込88,000円)
2024年度土地家屋調査士本科コース410,000円(税込451,000円)
2024年度土地家屋調査士本科Webコース410,000円(税込451,000円)

※本科コースまたは、本科Webコースをお選びください。特典学費には適用期限があります。

測量士補コース

配信期間 【基礎講義】12月中旬～【本講義】1月中旬～

講義と実戦模擬試験の5ステップで
実力養成時間がない方に最適なコース。

統一模擬試験(自宅実施)

当学院の統一模擬試験では、適正に実力判定ができるよう出題の論点構成や出題形式に配慮しています。是非、ご利用いただき直前期の学習計画にお役立てください。

- 模擬試験(2時間30分) 択一20問、書式2問
- 解説講義(2時間00分) 6月下旬～本試験日までWeb配信
自宅発送: 2024年6月中旬～(問題・解答解説集)
書式添削: 書式問題は添削を行います。
提出期間: 2024年7月上旬
受験料: 5,000円(税込5,500円)

※詳細は最寄りの日建学院にお問い合わせください。

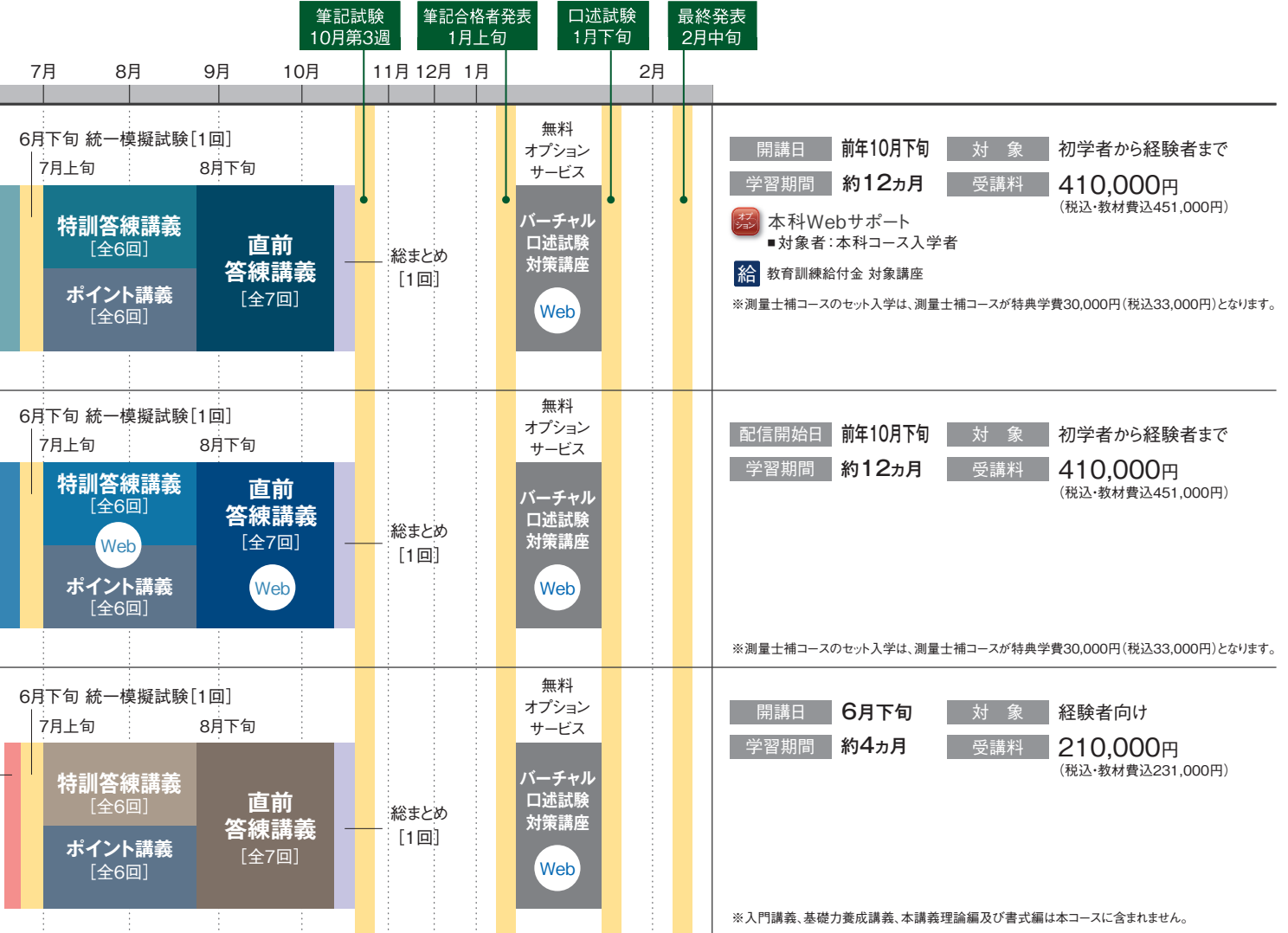
学習形態

通学型学習

- 日建学院各校にて決められた日時に通学し、学習いただくスタイルです。
- 決められたスケジュールの中で効率的に学習が進められる
 - 多人数制なので競争意識が芽生え、学習意欲が高まる。

Web学習

- 通学型学習と同様の講義を、インターネットを通じて学習するスタイルです。
- ライフスタイルに合わせて、自分のペースで学習を進められる。
 - くり返し学習できるので、苦手科目の克服には最適。



※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

本科 Webサポート

自宅でもしっかり学習!

繰り返し講義を受講することは、より深い知識の習得と定着にとても有効です。本科コースカリキュラムの全講義が、いつでも、どこでも、Web講義の受講が可能となります。

- 対象者：本科コース通学生
- 受講形態：Web
- 配信日程：通学用の講義提供スケジュールに準じた日程での配信となります。基本的に通学カリキュラムの講義日より配信いたします。

受講料 **30,000円** (税込33,000円)

受講に必要な動作環境

Web講座は、規定の接続環境・動作環境を満たしていなければ受講することができません。受講を予定されている各端末で「無料体験版」のテスト・動画などが正常に動作されるかご確認ください。日建学院ホームページより、受講生専用⇒無料体験版・動作環境でご確認いただけます。
<https://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/check2/>

動作確認は
コチラから→



日建学院のカリキュラム①

▶ 入門講義・基礎力養成講義

基礎知識を無理なく習得!

「新入門民法」 Web受講

入門講義 講義6回 1講義40分

民法の基礎・法律学習の基本知識を学習



民法は人間の生活に密接に関わりあっている法律。”身近な法律”民法を楽しく学んで、基礎知識を身につけていきます。

「基礎力養成講義」1月中旬～2月下旬

理論編4回 1講義90分、テスト2回 書式編8回 1講義90分

Q&A方式で、調査士試験範囲の全体像、書式の基礎、重要論点の基礎を学習

理論編1回	I 土地家屋調査士試験と択一学習法 II 不動産登記制度概観(その1)
理論編2回	III 不動産登記制度概観(その2)
理論編3回	IV 表示に関する登記概観 V 不動産登記制度にかかわる法令達 VI 不動産登記制度概観のまとめ
理論編4回	VII 筆界特定制度に関する基礎知識 VIII 区分建物に関する基礎知識
書式編1回	I 書式問題ガイダンス II 土地家屋調査士試験受験用定規の基本的な使用方法
書式編2回	I 関数電卓(CASIO fx-JP900 等)の基本的な使用方法 II 前回の復習 III 地積測量図の作成(1)
書式編3回	I 図面の訂正方法 II 地積測量図の作成(2) III 土地所在図の作成
書式編4回	I 各階平面図の作成 II 建物図面の作成
書式編5回	I 申請書作成の基本(土地その1)
書式編6回	I 申請書作成の基本(土地その2) II 申請書作成の基本(非区分建物その1)
書式編7回	I 申請書作成の基本(非区分建物その2) II 申請書作成の基本(区分建物)
書式編8回	I 合格のために必要な数学 II 距離と方向角を求めるための計算ツール)

▶ 本講義

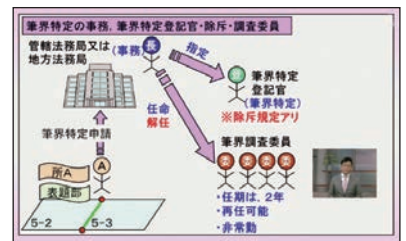
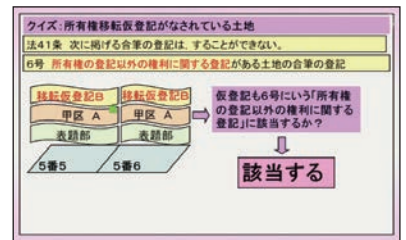
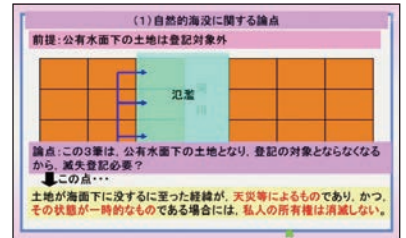
本試験で使える知識、本試験直結

「理論講義・書式講義」 3月上旬～6月下旬

理論講義31回 1講義90分、テスト16回

択一の重要論点を図解で分かりやすく解説!

1回	民法1
2回	民法2
3回	民法3
4回	民法4
5回	調査士法
6回	総論1
7回	総論2
8回	総論3
9回	総論4
10回	総論5
11回	総論6
12回	総論7
13回	総論8
14回	総論9
15回	総論10
16回	総論11
17回	総論12(中間試験1)
18回	各論1
19回	各論2
20回	各論3
21回	各論4
22回	各論5
23回	各論6
24回	各論7
25回	各論8
26回	各論9
27回	各論10
28回	各論11
29回	各論12
30回	各論13
31回	各論14(中間試験2)



はじめて土地家屋調査士の学習をする方でも無理なく合格レベルの実力をつけていただくためのカリキュラムです。

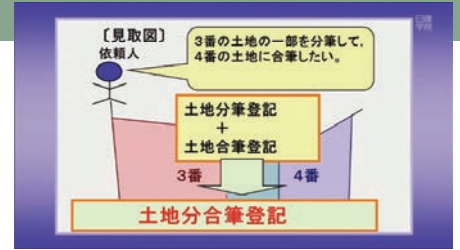
の重要論点を学ぶ「理論講義」と「書式講義」

書式講義15回 1講義120分、宿題15回

合格のキーワードは、「段階学習」「効率学習」「比類なき演習量」

1回	基礎力完成編1	問題演習 論点解説	<土地>土地分筆登記 <建物>建物表題登記
2回	基礎力完成編2	問題演習 論点解説	<土地>土地地積更正、分筆登記 <建物>建物表題部変更登記
3回	基礎力完成編3	問題演習 論点解説	<土地>土地地積更正登記 <建物>区分建物表題登記
4回	基礎力完成編4	問題演習 論点解説	<土地>土地一部地目変更・分筆登記 <建物>区分建物表題部変更登記(増築)
5回	基礎力完成編5	問題演習 論点解説	<土地>土地分合筆登記 <建物>建物表題部変更登記(種類・構造変更、分棟・一部取り壊し)
6回	基礎力完成編6	問題演習 論点解説	<土地>土地分筆登記、地目変更登記 <建物>建物区分登記
7回	基礎力完成編7	問題演習 論点解説	<土地>土地分筆登記 <建物>非区分建物に接続して区分建物が増築されたことによる表題部変更登記と区分建物表題登記
8回	基礎力完成編8	問題演習 論点解説	<土地>土地一部地目変更・分筆登記、土地地積更正登記 <建物>合体による登記等
9回	実践編1	過去問演習 論点解説	平成29年度 建物書式問題
10回	実践編2	過去問演習 論点解説	平成29年度 建物書式問題
11回	実践編3	過去問演習 論点解説	平成24年度 土地書式問題
12回	実践編4	過去問演習 論点解説	平成22年度 建物書式問題
13回	実践編5	過去問演習 論点解説	平成26年度 土地書式問題
14回	実践編6	過去問演習 論点解説	平成23年度 建物書式問題
15回	実践編7	過去問演習 論点解説	平成18年度 土地書式問題

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



1 基礎力養成講義で蓄えた知識を、本試験レベルに昇華!

書式本講義では、①基礎力完成編、②実践編の2部構成として、無理なく本試験レベルの実力を身につけカリキュラムです。

2 ①基礎力完成編の特徴▶効率良い学習!

本試験問題解答に要求されるベーシックな法理論の修得、そして過去の試験問題を徹底的に分析した上、頻出論点を抽出し、効率よく学習をしていただくことを目的としています。

3 ②実践編の特徴▶重要論点について詳細に解説

過去の試験問題を徹底的に演習していただき、重要となる論点について詳細な解説を施していきます。後の答練講義における予想論点修得へのアプローチとしての位置付けです。(フルサイズの問題演習)

4 提供書式問題数 全80問!

書式制覇の王道は、大量の演習を行うことに尽きます。当学院では、この王道を達成するため、講義内演習問題のほかに「宿題」として各回ごとに2問の書式問題を提供しております。過去問題の分析を徹底的に行い、適切な書式問題の提供を可能とし、この「宿題」によって、大量の問題演習の機会を提供します。

5 最大限の「理解」で一気に合格レベルへ到達!

暗記に頼る学習法ではなく、不動産登記法等を理解していくというスタンスで学習を行うこそが、土地家屋調査士試験攻略の近道です。徹底的に本試験択一問題を研究し、出題可能性の高い分野から重点的に学習していくカリキュラムとなっているので、無駄な学習労力を費やすことなく、学習することができます。

N-Method



- ▶ 齊木講師が日建学院の映像講義に合わせて新開発した講義手法の一つ。
- ▶ 「日建学院独自の解法」や、「単元のまとめ」、「重要ポイントの指摘」をカード形式で端的に紹介。
- ▶ 現役フリーアナウンサーがナレーションを担当。記憶に残る講義内コンテンツとなっています。

(土地家屋調査士講座を) ▶ 学習の速度が著しく向上した。
ご利用いただいた受験生の声) ▶ 視聴したことを無意識で覚えている

ホームページで
公開中!
ぜひ一度体感ください!

キャスター佐藤まい江が
今話題の N-Method の
秘密に迫る!! >>>>



日建学院のカリキュラム②

▶ 答案練習講義

答練講義の映像は毎年刷新!

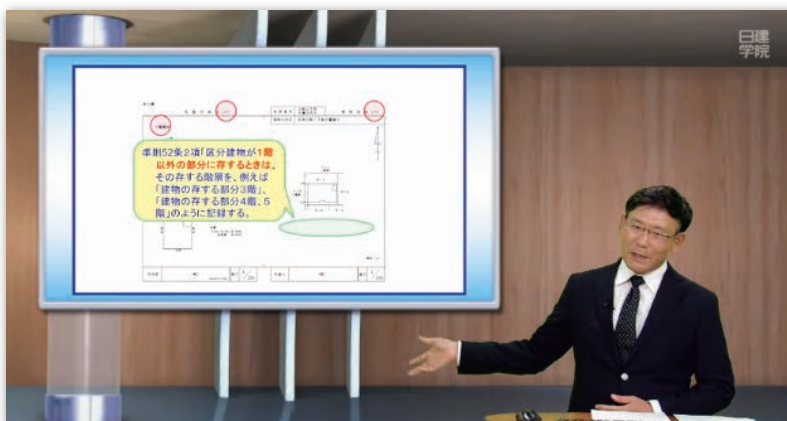
さらに講義時間を90分→120分に大幅拡大! 添削も2回増え、

前半 「特訓答練」 7月上旬～8月下旬

特訓答練6回 模擬試験150分、解説講義120分

過去問論点中心の答案練習講義「前半:1～6回」で実践レベルの訓練

1回	特訓答練1	模擬試験 解説講義	特訓答練模擬 1
2回	特訓答練2	模擬試験 解説講義	特訓答練模擬 2
3回	特訓答練3	模擬試験 解説講義	特訓答練模擬 3
4回	特訓答練4	模擬試験 解説講義	特訓答練模擬 4
5回	特訓答練5	模擬試験 解説講義	特訓答練模擬 5
6回	特訓答練6	模擬試験 解説講義	特訓答練模擬 6



1 過去問論点の修得状況を確認

前半特訓答練では、択一・書式を通じて過去問の論点からの出題とし、過去問論点の修得状況を確認していきます。

2 予想論点を修得するためのアプローチ

過去問をマスターしなければ解くことのできない予想論点(過去において未出題の論点)。後半の内容である予想論点へのアプローチとして重要な役割を果たします。

3 試験テクニック等の習得

知識の修得だけでなく、時間配分及び時間短縮その他、より得点を積み上げるための試験テクニックを必要とする土地家屋調査士試験の攻略。論点学習に余裕がある特訓答練で、様々なテクニックも紹介します。このタイミングでしっかりテクニックを習得しましょう。



「ポイント講義」 関数電卓(複素数モード)・敷地権・割問集中ゼミ

講義6回 1講義120分 7月上旬～8月下旬

ポイント講義1	・複素数モードによる計算
ポイント講義2	・敷地権克服ゼミ(1)
ポイント講義3	・敷地権克服ゼミ(2)
ポイント講義4	・問題文読解ゼミ・割問ゼミ(1)
ポイント講義5	・割問ゼミ(2)
ポイント講義6	・割問ゼミ(3)

上級者向けの「ポイント講義」は、本試験会場で判断に迷った時や初出題の論点を考える力を養います。

- 1 関数電卓の複素数モードを紹介。
- 2 多くの受験生が苦手とする敷地権についての講義
- 3 「割問ゼミ」では見解が分かれた過去の本試験問題をゼミ形式で解説。



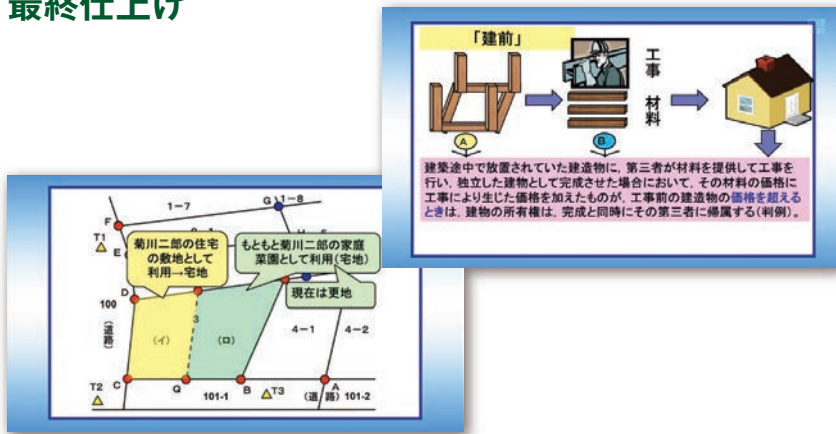
一通りインプットが終わったら、実戦形式の模擬試験へと進みます。
 本試験を忠実に再現した本格派問題冊子も受験生から高い評価を受けています。

他にはない充実の内容です。

後半 「直前答練」 8月下旬～10月中旬

直前答練7回 模擬試験150分、解説講義120分

予想論点を含む答案練習講義「後半:7～13回」で最終仕上げ



7回	直前答練1	模擬試験解説講義	直前模擬 1
8回	直前答練2	模擬試験解説講義	直前模擬 2
9回	直前答練3	模擬試験解説講義	直前模擬 3
10回	直前答練4	模擬試験解説講義	直前模擬 4
11回	直前答練5	模擬試験解説講義	直前模擬 5
12回	直前答練6	模擬試験解説講義	直前模擬 6
13回	直前答練7	模擬試験解説講義	直前模擬 7

1▶ 予想論点の修得

近年の本試験の傾向を徹底研究し、過去に出題されたことのない論点を予想論点として出題します。択一・書式とも過去の重要論点と融合した形式となっていますので、より精緻な本試験シミュレートが可能です。

2▶ 論点だけではないハイレベル

知識だけでなく、思考力・時間配分力・文章力・注意力・精神力等、これら全てを本試験が要求するレベルに到達させるための問題構成及び講義内容としています。

3▶ 試験テクニック等の完成

特訓答練で習得した試験テクニック等を答案練習講義後半で実践していきます。ハイレベルな問題演習を通じて、習得したテクニックの効果を実感してください。解答時間の短縮、ケアレスミスの減少、得点効率の向上…。合格への強い手応えを得られるはずです。

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



「バーチャル口述試験対策講座」 筆記試験合格発表後～

《 無料オプションサービス 》

口述試験の心構え・注意点・出題傾向を知り、また、本試験さながらの緊張感のあるバーチャル動画で訓練を行う。万全の体制で口述本試験に臨むことができるよう工夫を凝らした講座内容を無料オプションサービスでお届けします！

～再現映像～



口述試験とはどんな試験でどのように学習したら良いのかの確認や、当日の服装についてのアドバイス、過去の受験者の方々の証言を基にリアルに再現した口述試験の様子をまとめた講義など、盛りだくさんの内容です。

Chapter.4 バーチャル口述試験



過去に問われた口述本試験の論点をベースに、6パターンのバーチャル口述試験をご用意しました。いつでも何度でも口述試験当日まで練習することができます。受け答えの模範解答例集6パターンをPDFデータで提供します。

講義	日程	講義科目・回数	テスト	宿題	書式添削	補足	
入門講義	前年度本試験後より 順次	入門 1					
		入門 2					
		入門 3					
		入門 4					
		入門 5					
		入門 6					
基礎力養成講義	1 月中旬より 順次	(基) 理論 1・2	基- 1				
		(基) 理論 3・4	基- 2				
		(基) 書式 1・2					
		(基) 書式 3・4					
		(基) 書式 5・6					
		(基) 書式 7・8					
理論講義・書式講義	3 月上旬より 順次	(理) 民法 1	理- 1				
		(書) 基礎力完成編 1		書 1	☆		
		(理) 民法 2・3	理- 2				
		(書) 基礎力完成編 2		書 2			
		(理) 民法 4・調査士法	理- 3				
		(書) 基礎力完成編 3		書 3			
		(理) 総論 1・2	理- 4				
		(書) 基礎力完成編 4		書 4			
		(理) 総論 3・4	理- 5				
		(書) 基礎力完成編 5		書 5			
		(理) 総論 5・6	理- 6				
		(書) 基礎力完成編 6		書 6	☆		
		(理) 総論 7・8	理- 7				
		(書) 基礎力完成編 7		書 7			
		(理) 総論 9・10	理- 8				
		(書) 基礎力完成編 8		書 8			
		(理) 総論 11・12 ※ 12 回：第 1 回中間試験	理- 9 (自宅実施)				
		(書) 基礎力実践編 1		書 9	☆		
		(理) 各論 1・2	理- 10				
		(書) 基礎力実践編 2		書 10			
		(理) 各論 3・4	理- 11				
		(書) 基礎力実践編 3		書 11			
		(理) 各論 5・6	理- 12				
		(書) 基礎力実践編 4		書 12			
		(理) 各論 7・8	理- 13				
		(書) 基礎力実践編 5		書 13	☆		
		(理) 各論 9・10	理- 14				
		(書) 基礎力実践編 6		書 14			
(理) 各論 11・12	理- 15						
(書) 基礎力実践編 7		書 15					
(理) 各論 13・14 ※ 14 回：第 2 回中間試験	理- 16 (自宅実施)						
公開模試	6 月下旬	統一模擬試験 (理論・書式) 模擬試験解説講義			☆		
答案練習講義・ポイント講義	7 月上旬より 順次	講義科目・回数	模擬試験	添削			
		(答) 答案練習講義 第 1 回	特訓答案練習 1				
		(答) ポイント講義 1					
		(答) 答案練習講義 第 2 回	特訓答案練習 2	☆			
		(答) ポイント講義 2					
		(答) 答案練習講義 第 3 回	特訓答案練習 3				
		(答) ポイント講義 3					
		(答) 答案練習講義 第 4 回	特訓答案練習 4	☆			
		(答) ポイント講義 4					
		(答) 答案練習講義 第 5 回	特訓答案練習 5				
		(答) ポイント講義 5					
		(答) 答案練習講義 第 6 回	特訓答案練習 6	☆			
		(答) ポイント講義 6					
		(答) 答案練習講義 第 7 回	直前模擬 1				
		(答) 答案練習講義 第 8 回	直前模擬 2	☆			
		(答) 答案練習講義 第 9 回	直前模擬 3				
		(答) 答案練習講義 第 10 回	直前模擬 4	☆			
		(答) 答案練習講義 第 11 回	直前模擬 5				
		(答) 答案練習講義 第 12 回	直前模擬 6	☆			
		(答) 答案練習講義 第 13 回	直前模擬 7				
(答) 修了試験 ※ 給付金申請者必須受験							
(答) 総まとめ							
筆記	例年 10 月 3 日 曜日	土地家屋調査士筆記試験					
	筆記試験合格発表後より	バーチャル口述試験対策講座					
口述	例年 1 月 第 3 週 目	口述試験					

※試験日程は例年の日程です。正式発表を必ずご確認ください。
 ※日程表の☆の宿題・模擬試験は書式添削を行います。

記載の内容は予定のため変更する場合があります。

日建学院 本校教室一覧

北海道・東北地区

札幌 ☎ 011-251-6010
 苫小牧 ☎ 011-251-6010
 旭川 ☎ 0166-22-0201
 青森 ☎ 017-774-5001
 弘前 ☎ 0172-29-2561
 八戸 ☎ 0178-70-7500
 盛岡 ☎ 019-659-3900
 水沢 ☎ 0197-22-4551
 仙台 ☎ 022-267-5001
 秋田 ☎ 018-801-7070
 山形 ☎ 023-622-5100
 酒田 ☎ 0234-26-3351
 郡山 ☎ 024-941-1111

北陸地区

新潟 ☎ 025-245-5001
 長岡 ☎ 0258-25-8001
 上越 ☎ 025-525-4885
 富山 ☎ 076-433-2002
 金沢 ☎ 076-280-6001
 KIT前教室 ☎ 076-293-0821
 福井 ☎ 0776-21-5001

関東地区

水戸 ☎ 029-305-5433
 つくば ☎ 029-863-5015
 宇都宮 ☎ 028-637-5001
 小山 ☎ 0285-31-4331
 群馬 ☎ 027-330-2611
 太田 ☎ 0276-58-2570
 大宮 ☎ 048-648-5555
 川口 ☎ 048-499-5001
 川越 ☎ 049-243-3611
 所沢 ☎ 04-2991-3759
 朝霞台 ☎ 048-470-5501
 南越谷 ☎ 048-986-2700
 熊谷 ☎ 048-525-1806
 千葉 ☎ 043-244-0121
 船橋 ☎ 047-422-7501
 成田 ☎ 0476-22-8011
 木更津 ☎ 0438-80-7766
 柏 ☎ 04-7165-1929
 新松戸 ☎ 047-348-6111
 浦安 ☎ 047-397-6780
 池袋 ☎ 03-3971-1101
 新宿 ☎ 03-6894-5800
 上野 ☎ 03-5818-0731
 新橋 ☎ 03-6858-4650
 吉祥寺 ☎ 0422-28-5001
 立川 ☎ 042-527-3291
 八王子 ☎ 042-628-7101

北千住 ☎ 03-6850-0120
 町田 ☎ 042-728-6411
 武蔵小杉 ☎ 044-733-2323
 横浜 ☎ 045-440-1250
 厚木 ☎ 046-224-5001
 藤沢 ☎ 0466-29-6470
 山梨 ☎ 055-263-5100
 長野 ☎ 026-244-4333
 松本 ☎ 0263-41-0044

東海地区

静岡 ☎ 054-654-5091
 浜松 ☎ 053-546-1077
 沼津 ☎ 055-954-3100
 富士 ☎ 0545-66-0951
 名古屋 ☎ 052-856-0631
 北愛知 ☎ 0568-75-2789
 岡崎 ☎ 0564-28-3811
 豊橋 ☎ 0532-57-5113
 岐阜 ☎ 058-216-5300
 四日市 ☎ 059-349-0005
 津 ☎ 059-291-6030

近畿地区

京都 ☎ 075-221-5911
 福知山 ☎ 0773-23-9121
 滋賀 ☎ 077-561-4351
 梅田 ☎ 06-6377-1055
 なんば ☎ 06-4708-0445
 枚方 ☎ 072-843-1250
 堺 ☎ 072-228-6728
 岸和田 ☎ 072-436-1510
 橿原 ☎ 0744-28-5600
 奈良 ☎ 0742-34-8771
 神戸 ☎ 078-230-8331
 姫路 ☎ 079-281-5001
 和歌山 ☎ 073-473-5551
 田辺 ☎ 0739-22-6665

中国地区

岡山 ☎ 086-223-8860
 倉敷 ☎ 086-435-0150
 福山 ☎ 084-926-0570
 広島 ☎ 082-223-2751
 岩国 ☎ 0827-22-3740
 山口 ☎ 083-972-5001
 徳山 ☎ 0834-31-4339
 松江 ☎ 0852-27-3618
 鳥取 ☎ 0857-27-1987
 米子 ☎ 0859-33-7519

四国地区

松山 ☎ 089-924-6777
 西条 ☎ 0897-55-6770
 高松 ☎ 087-869-4661
 高知 ☎ 088-821-6165
 徳島 ☎ 088-622-5110

九州地区

北九州 ☎ 093-512-7100
 天神 ☎ 092-762-3170
 博多 ☎ 092-233-1156
 久留米 ☎ 0942-33-9164
 大牟田教室 ☎ 0944-32-8915
 佐賀 ☎ 0952-31-5001

長崎 ☎ 095-820-5100
 佐世保 ☎ 0956-88-2060
 大分 ☎ 097-546-0521
 中津 ☎ 0979-25-0002
 熊本 ☎ 096-241-8880
 宮崎 ☎ 0985-50-0034
 延岡 ☎ 0982-34-7183
 都城 ☎ 0986-88-4001
 鹿児島 ☎ 099-808-2500
 沖縄 ☎ 098-861-6006
 うるま ☎ 098-916-7430
 名護 ☎ 0980-50-9115

※2023年01月29日現在

日建学院 認定校

日建学院 認定校

日建学院 公認スクール

日建学院 公認スクール

受講者の生活スタイルは様々です。できることならば通学時間は短いほうがいい。そんな思いで「日建学院認定校」と「日建学院公認スクール」を全国に開校しています。「日建学院認定校」では建築士と土木施工管理技士を中心に運営、「日建学院公認スクール」でも多くの講座を運営しています。提供される講座は、本校と同じカリキュラム、同じ教材でクオリティの高い授業が提供されます。日建学院ホームページの全国学校案内からあなたの近くの日建学院をお探しください。

講座一覧

認定校及び公認スクールでは取扱講座が異なりますので詳しくは最寄り校へご確認下さい。

建築関連講座

1級建築士学科・設計製図
 2級建築士学科・設計製図
 インテリアコーディネーター(一次・二次試験)
 建築設備士
 構造設計1級建築士

不動産関連講座

宅地建物取引士
 賃貸不動産経営管理士
 管理業務主任者
 土地家屋調査士
 測量士補

建設関連講座

1級建築施工管理技士
 2級建築施工管理技士
 1級土木施工管理技士
 2級土木施工管理技士
 1級管工事施工管理技士
 2級管工事施工管理技士
 1級造園施工管理技士
 2級造園施工管理技士
 給水装置工事主任技術者
 第三種電気主任技術者試験過去問題
 1級エクステリアプランナー
 2級エクステリアプランナー
 コンクリート主任技士
 コンクリート技士
 CPDS認定

税務・ビジネス・介護・福祉関連講座

2級ファイナンシャルプランナー(AFP)
 3級ファイナンシャルプランナー
 日商簿記2級
 日商簿記3級
 秘書検定3級・2級・準1級筆記試験対策Web
 2級建設業経理士Web
 福祉住環境コーディネーター2級
 介護福祉士

実務関連講座

構造計算関連

就職・スキルアップ関連講座

JW-CAD
 Auto-CAD
 DRA-CAD
 建築CAD検定試験2級試験対策Web
 建築CAD検定試験3級試験対策Web
 初心者のためのOffice入門Web
 SPI試験対策
 中国語能力初級/中級

職業訓練

介護職員初任者研修
 介護福祉士実務者研修 通学

法定講習一覧

(株)日建学院 実施

- 建築士定期講習
- 建築技術者講習
- 宅建登録講習
- 評価員講習会
- 宅建実務講習
- 第一種電気工事士定期講習



日建学院のホームページはこちらから▶

担当者コード	
最寄り校	

建築資料研究社 日建学院

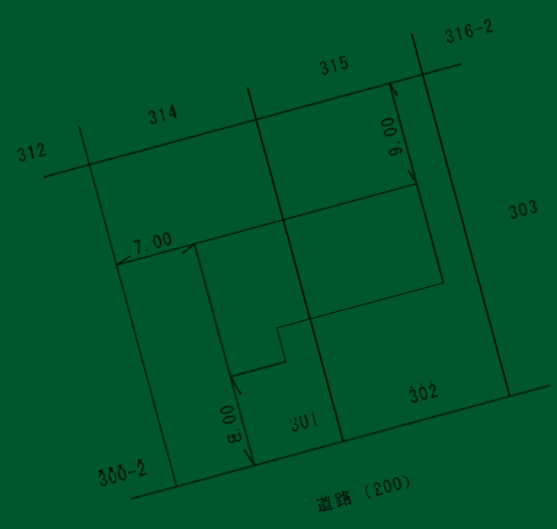
お問合せ・資料請求・試験情報

日建学院 コールセンター ☎ 0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

求積
 $11.86 \times 4.86 = 57.6396$
 $8.86 \times 15.00 = 132.9000$
計 190.5396
床面積 190.53㎡

求積
 $8.86 \times 8.86 = 78.4996$
床面積 78.49㎡



あなたの「夢」応援します

(単位：m)

縮尺 1/500

申請人

地番 11番1、
土地の所在 A市B

縮尺 1/250

第4欄



10-2

10-1

日建学院

作成者

(略)

(平成30年〇月〇日作成)